

横浜の交通を考えるシンポジウムⅡ 「これからの横浜の交通」 アンケート調査のまとめ

1. アンケートの回答状況

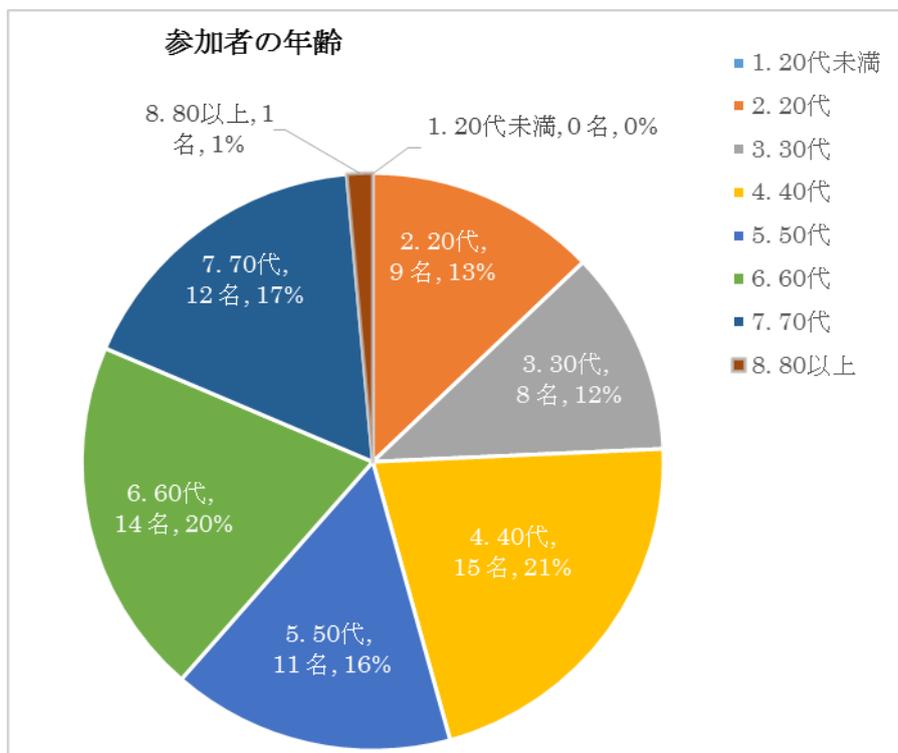
- シンポジウムの参加者に、アンケートを行いました。アンケート回答数は70人でした。

▼シンポジウム アンケート調査項目

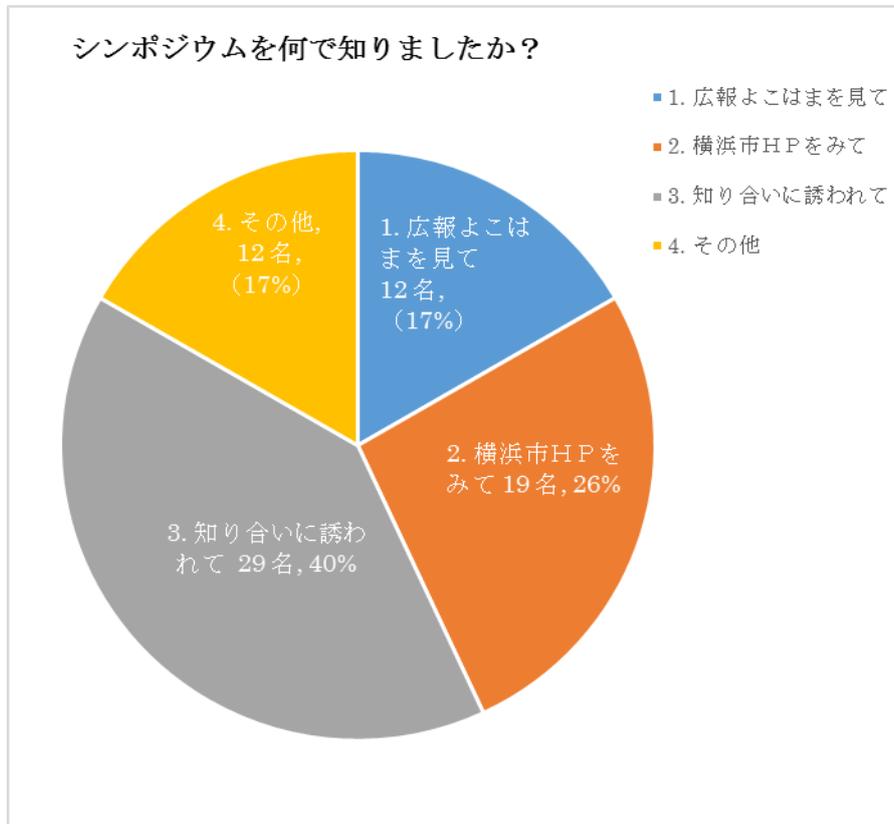
- 問1 ご年齢を教えてください。
- 問2 本日のシンポジウムを何でお知りになりましたか？
- 問3 日常の移動手段について、教えてください。
- 問4 現在、移動や交通に不便さを感じることはありますか？
- 問5 将来（20年後）、移動や交通に不便さを感じると思いますか？
- 問6 本日のシンポジウムの感想（自由記入）

2. アンケートの回答について

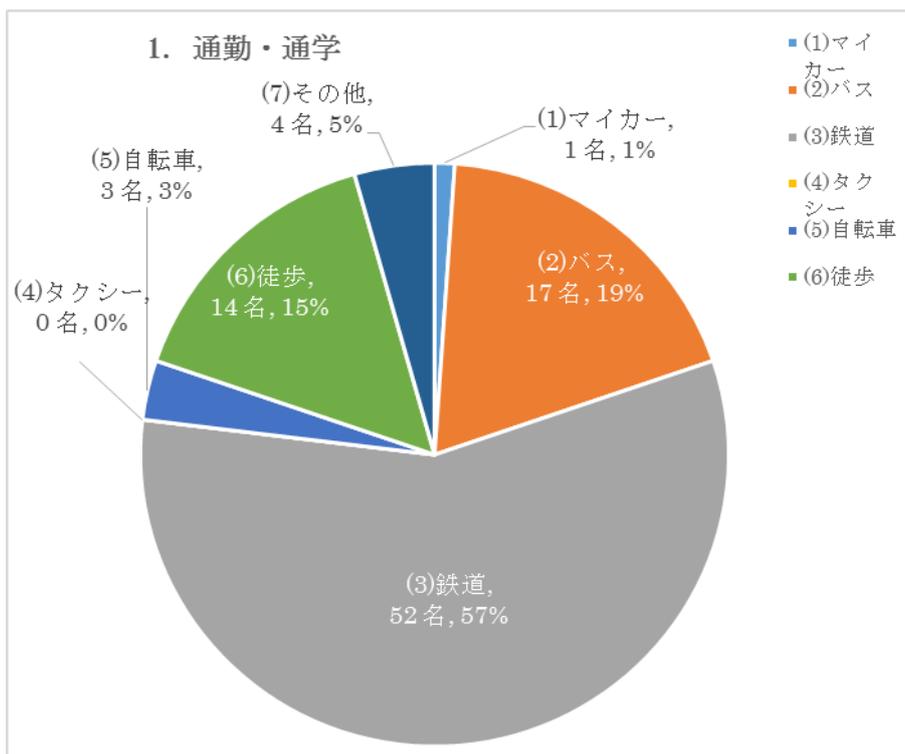
問1 ご年齢を教えてください。

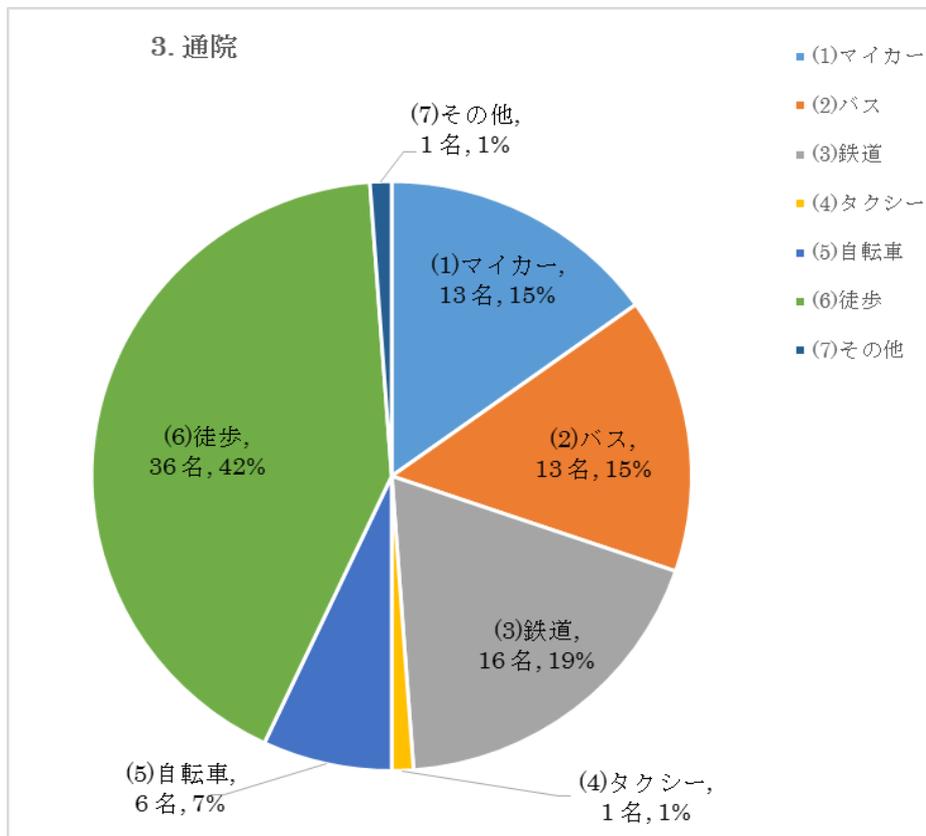
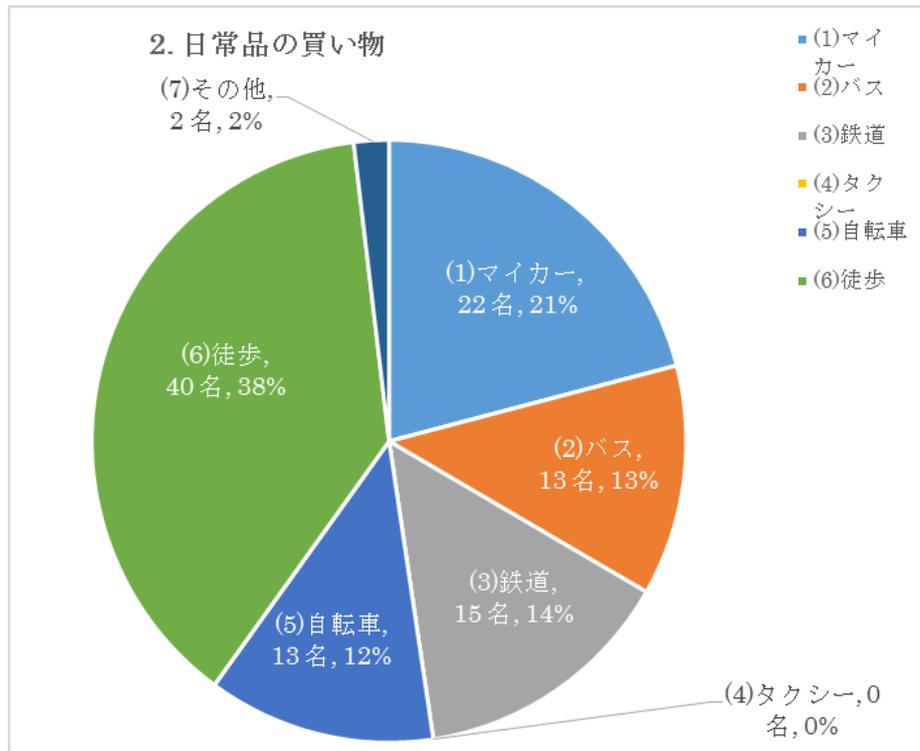


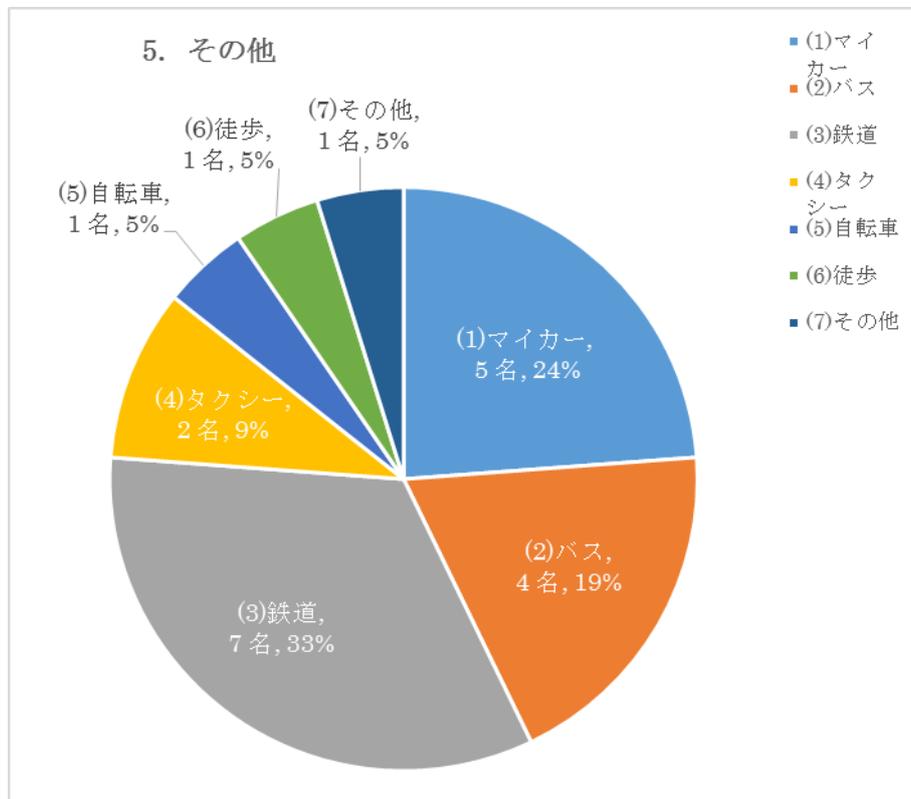
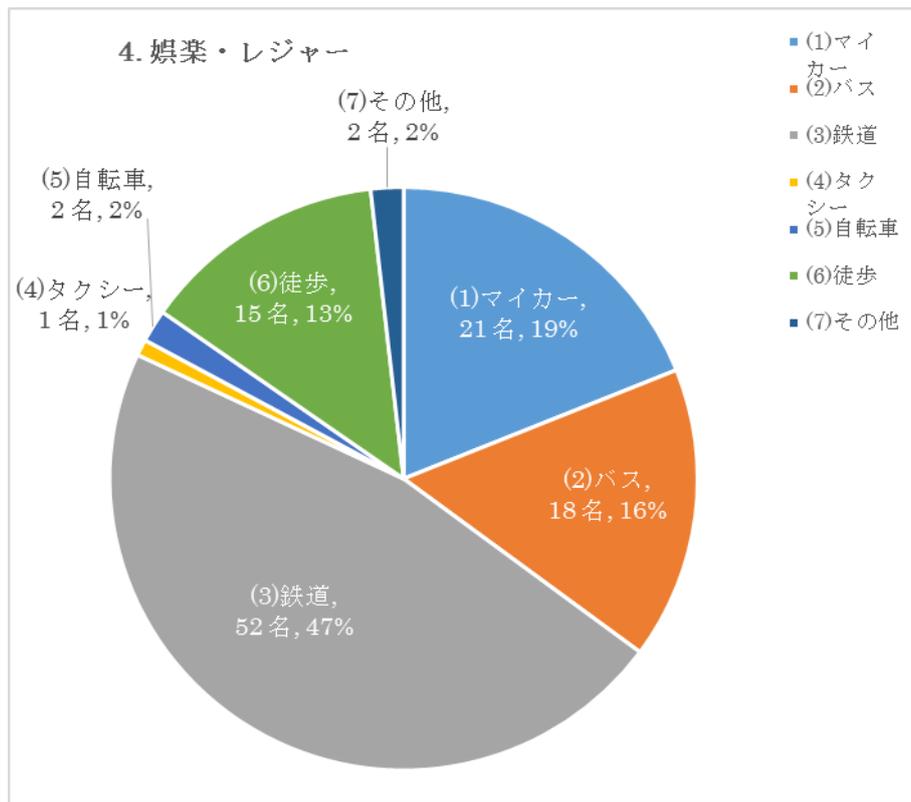
問2 本日のシンポジウムを何でお知りになりましたか？



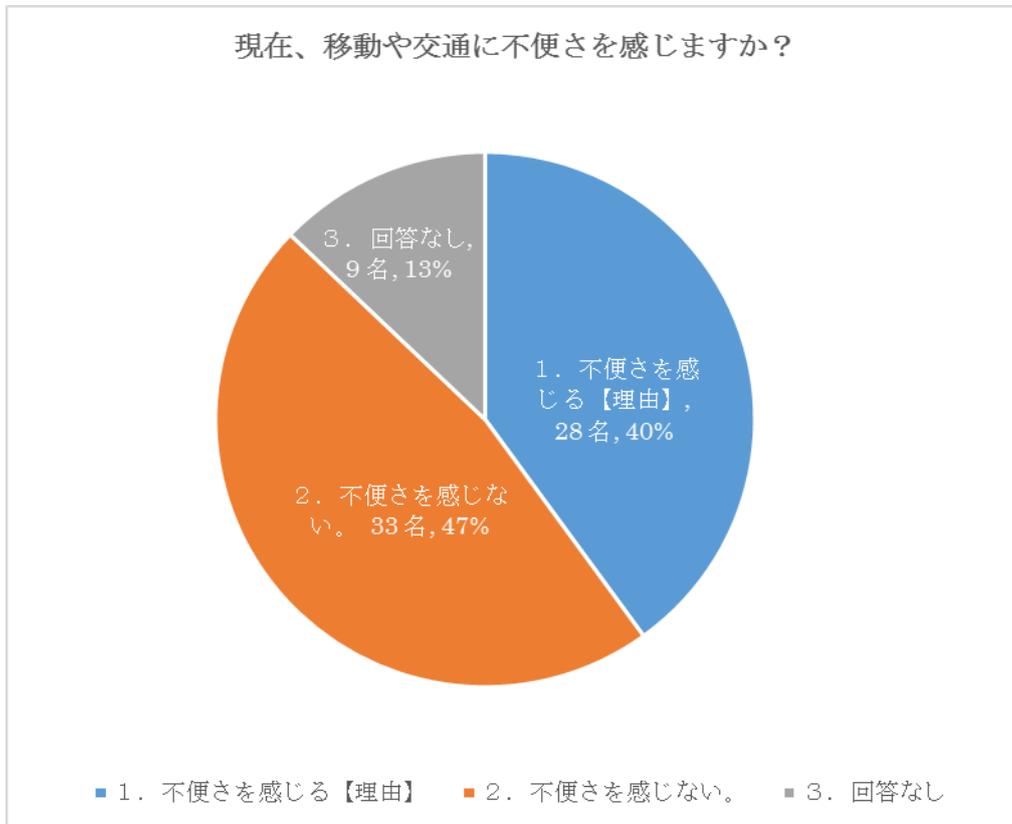
問3 日常の移動手段について、教えてください。







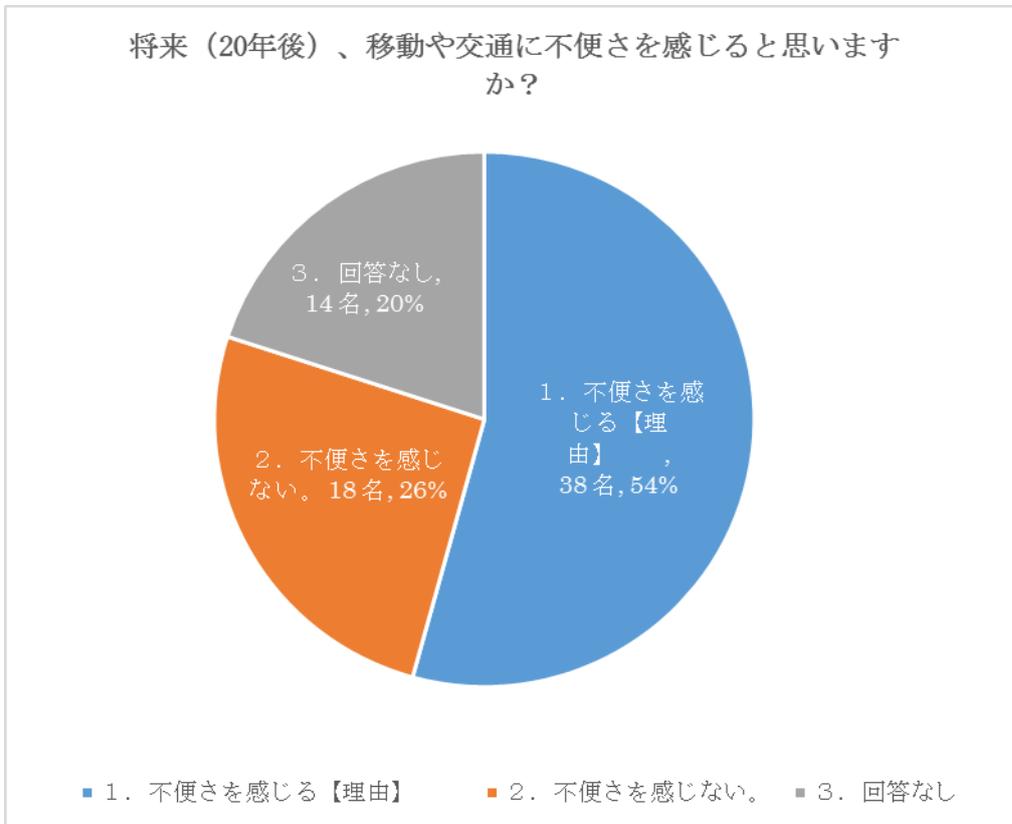
問4 現在、移動や交通に不便さを感じることはありますか？



不便さを感じる理由(主な意見)

- ・ 一般道での交通渋滞。(20代)
- ・ 買い物する場所の近くに駅がなく、どうしてもマイカーに依存してしまう。(20代)
- ・ 住んでいる所が駅から歩いて20分位かかる所であり、かつ、坂道が非常に多い為、駅まで行くことが大変である。家から駅までのバスも1時間に2本であり、不便。(30代)
- ・ 市営バスがそれなりに走っているが使い方(経路等)が分かりにくい。(40代)
- ・ バスの運行本数。オートバイも利用できる駐輪場の整備(50代)
- ・ 直線距離では近いところでも、公共交通を使うと大まわりせざるを得ず時間がかかる。(60代)

問5 将来(20年後)、移動や交通に不便さを感じると思いませんか？



不便さを感じる理由(主な意見)

- ・ 20年後以上先だが、加齢により車の運転がなくなっている可能性。(20代)
- ・ バスの運転士の方がこのまま減少していくのであればバスの本数も少なくなるのではないか。(30代)
- ・ 体力の低下に伴い、徒歩移動や買い物時の荷物など、今とは違い面倒くさくなりそう。便利なサービスがあれば。(40代)
- ・ 坂の上に住んでいるので、バス停も駅も近いが年をとったら坂ののぼり降りがきびしくなると思う。(50代)
- ・ 車の運転はしていないと思うのでバスを利用すると思うが運転手不足で本数不足が予想される。混雑しているバスには乗りたくない。(50代)
- ・ 高齢となり自動車の運転ができるか否か不安を感じる。(60代)
- ・ 免許返納後の近場の移動手段。(60代)

問6 本日のシンポジウムの感想(主な意見)

- ・ 普段何気なく利用している鉄道、バスですが、多くの施策目標の実現を目指す横浜市の取り組みがあるからこそ不自由なく生活できると改めて感じる事ができました。今後、高齢化社会に伴い様々な問題が出てくると思われませんが、地域交通バス事業やオンデマンドバス、鉄道延伸などこれからの横浜市の更なる利便性の向上に向けて推進のほどよろしく願い致します。本日はありがとうございました。(20代)
- ・ 横浜市では様々な部署が交通の問題に対応しているのがわかった。連携しあえばいいのにといいところが何点か感じた。(20代)
- ・ 発表者それぞれの自己紹介が不足。時間が不足のためでしょうか?このような機会に参加する機会は少ない。大変刺激的だったが会の目的と私たちに期待すること、広報してほしいことなどはっきりと示してほしい。(40代)
- ・ 多くの関係機関がいろいろな方面から公共交通について、事業を行っていることを知った。公共交通機関の利用が難しい交通弱者に関する事業等の講演もあったら良いと思う。(40代)
- ・ 横浜市は税金が高いというのが常に感じていたことであつたが、地域の交通や地域包括ケアシステムに利用されていることが分かりよかつたと思う。近頃のトピックとして高齢者ドライバーの事故の多さから運転免許の返納推進が加速すると思われるが、代替え移動手段、しかも身近な生活に密着した手段、高価でない手段が必要で、今後、早急に力を入れてもらいたい。(40代)
- ・ 市の交通政策は理解できた。今後、鉄道、バス事業者から見た市の交通の今後など官民連携で開催してほしい。(40代)
- ・ この様な話は、聞きたい人が沢山いると思います。年に何度も行って欲しいのと、開催することをもっと大きく宣伝してほしいです。(50代)
- ・ 個々の報告はもっと詳細に聞きたかつたです。あと、ディスカッションがないのが残念でした。(50代)
- ・ 交通問題は高齢化と密接。交通のシンポジウムに福祉の部局が参加したことはとてもよい。(50代)
- ・ 交通政策推進に関して、市民に直接説明される機会があることはとても良いことです。(70代)